

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	アルファジャパン美容専門学校
設置者名	学校法人本田学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
衛生専門課程	美容科	夜・通信	600	160	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

事務局にて、「学校情報」のファイルを、自由に閲覧できるように設置している。

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	アルファジャパン美容専門学校
設置者名	学校法人本田学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

事務局にて、「学校情報」のファイルを自由に閲覧できるよう設置している。

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	兵庫県議会議員	R4. 3. 17～ R8. 3. 16	機動的な学校法人 の運営並びに運営 の適正・公共性。
非常勤	会計事務所代表	R4. 3. 17～ R8. 3. 16	的確な会計、安定し た学校運営
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	アルファジャパン美容専門学校
設置者名	学校法人本田学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 担当教員による講義及び実習による授業を行う。 ・ ヘア、ネイル、メイク、エステ等の実技授業に関しては、必ず教員によるデモンストレーション(初回時)を行う。 その後、生徒たちによる実習を行う。 ・ 検定の方法→実習・重要箇所の予習と復習・実技のトレーニングをサイクルとし、知識と技術の定着とスキルアップを行っている。 ・ 授業担当教員が去年の生徒の理解度や満足度を考慮し、シラバスを作成する。 その後、他の教員と共にミーティングを重ね、修正を行う。 時間の配分、スケジュールの変更、必要であれば科目内容の細分化を行い、毎年1月中を目途に作成を行っている。 ・ その後、学生オリエンテーションを通じて、各担当教員より2月中に周知し、同時に、本校のホームページにも掲載公表している。 	
授業計画書の公表方法	事務局にて「学校情報」のファイルを自由に閲覧できるように設置している。
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>授業の出席は勿論であるが、授業の態度、レポート提出等の状況をふまえ、各担当教員があらかじめ個別に設定した評価方法により、評価される。</p> <p>また、所定の履修認定時間数を満たし、かつ学期末考査で60点以上の成績を修めること必須である。</p> <p>考査で60点未満の生徒は、不得意な科目を確認し、再度担当教員より指導を受け、再考査を行う。</p> <p>再考査が60点以上であれば、履修認定を行っている。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>GPAの評価方法としては、前期末考査、後期末考査、前期、後期の集計に分けて分布状況を出している。</p> <p>全科目の合計点数の平均値を算出し、6項目(～50点、51点～60点、61点～70点、71点～80点、81点～90点、91点～100点)のどの指標数値に当てはまるか、人数を割り振った方法で指標を設定している。</p> <p>また、下位1/4に該当する人数とその指標数値についても把握している。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	事務局にて、「学校情報」のファイルを自由に閲覧できるように設置している。
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業に必要な履修時間数を履修していること。 ・すべての教科課目の到達度からみて、満足できると認められること。 ・すべての学期末考査にて、60点以上の成績を修めていること。 ・60点未満の者は再考査にて、60点以上の成績を修めること。 ・授業料を納付していること。 <p>以上の事を踏まえて、卒業するにあたる会議を3月に開催し、認められた者を卒業と認定する。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	事務局にて、「学校情報」のファイルを自由に閲覧できるように設置している。

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	アルファジャパン美容専門学校
設置者名	学校法人本田学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.a-japan.ac.jp/college/
収支計算書又は損益計算書	https://www.a-japan.ac.jp/college/
財産目録	事務局にて、「学校情報」のファイルを自由に閲覧できるように設置している。
事業報告書	https://www.a-japan.ac.jp/college/
監事による監査報告（書）	事務局にて、「学校情報」のファイルを自由に閲覧できるように設置している。

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
美容		衛生専門課程	美容科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2010 単位時間/単位	510 単位時間 /単位	単位時間 /単位	900 単位時間 /単位	単位時間 /単位	600 単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		102人	0人	10人	9人	19人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> 担当教員による講義及び実習による授業を行う。 ヘア、ネイル、メイク、エステ等の実技授業に関しては、必ず教員によるデモンストレーション（初回時）を行う。 検定の方法→実習・重要箇所の予習と復習・実技のトレーニングをサイクルとし、知識と技術の定着とスキルアップを行っている。 年間の授業計画は、去年の計画をもとに、修正・改善を行い作成している。
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業担当教員が去年の生徒の理解度や満足度を考慮し、シラバスを作成する。その後、他の教員と共にミーティングを重ね、修正を行う。 時間の配分、スケジュールの変更、必要であれば科目内容の細分化を行い、毎年1月中を目途に作成を行っている。 その後、学生オリエンテーションを通じて、各担当教員より2月中に周知し、同

時に、本校のホームページにも掲載公表している。
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業に必要な履修時間数を履修していること。 ・すべての教科課目の到達度からみて、満足できると認められること。 ・すべての学期末考査にて、60点以上の成績を修めていること。 ・60点未満の者は再考査にて、60点以上の成績を修めること。 ・授業料を納付していること。 <p>以上の事を踏まえて、卒業するにあたる会議を3月に開催し、認められた者を卒業と認定する。</p>
<p>学修支援等</p> <p>授業についていけない生徒に対して、放課後、補講によるサポートを行う。 また、検定や考査前に対して、放課後にサポートを行う。</p>
(概要)

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
52人 (100%)	0人 (0%)	49人 (94%)	3人 (6%)
(主な就職、業界等) 美容室、結婚式場、まつげエクステサロンに就職。			
(就職指導内容) 挨拶訓練や電話訓練、訪問訓練、履歴書の添削、サロン訪問時のマナーなどをしっかり指導し、就職の意識を高めながら、必要なノウハウを学生に合わせて指導している。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 美容師国家資格、まつげエクステ検定、福祉美容士資格、メイク検定、ネイル検定、エステ検定、着付け資格など。			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
120 人	5 人	4%
<p>(中途退学の主な理由) 修学意欲低下、進路変更。</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>早期適応を目指し、入学時には本校理念に基づいた研修をおこなっている。</p> <p>また、担任・副担任制を設け、学生との面談だけでなく、保護者との三者面談をおこない、連携をとっている。</p> <p>卒業生講話の場も設け、美容業界のやりがいを伝え、意欲継続などに努めている。</p>		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
昼間課程	100,000 円	600,000 円	601,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ファイル名：学校自己評価 ホームページ掲載 https://www.a-japan.ac.jp/college/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 美容業界の学識経験者や卒業生、その他本校の関係者において、評価項目に直接かわりのないメンバーで構成されている。		
<p>■学校自己評価の結果に基づき評価を行う</p> <p>評価項目：①教育理念・目標 ②学校運営 ③教育活動 ④学習成果 ⑤学生支援 ⑥教育環境 ⑦学生募集 ⑧財務 ⑨法令等の遵守 ⑩社会貢献・地域貢献</p> <p>採点基準：適切－4 ほぼ適切－3 やや不適切－2 不適切－1</p> <p>以上の評価項目、採点基準を踏まえて、1、2の評価は直ぐに職員全員で、3評価以上に報告書記載の課題と改善点を基に評価改善を行う。 また、3の評価に関しても同様で報告書記載の課題と改善点を基に評価改善を行う。</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
株式会社ハーベン	令和5年1月6日～ 令和7年1月5日	教育に関する有識者
有限会社もとやま	令和5年1月6日～ 令和7年1月5日	企業
有限会社アールアンドエス企画	令和5年1月6日～ 令和7年1月5日	保護者
美容室 LOTUS	令和5年1月6日～ 令和7年1月5日	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ファイル名：自己評価における学校関係者評価報告 ホームページ掲載 https://www.a-japan.ac.jp/college/		

第三者による学校評価（任意記載事項）

c) 当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）

<https://www.a-japan.ac.jp/college/>

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	H128310000664
学校名 (〇〇大学 等)	アルファジャパン美容専門学校
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人本田学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者 (家計急変による者を除く)		27人	26人	27人
内 訳	第Ⅰ区分	19人	16人	
	第Ⅱ区分	－	－	
	第Ⅲ区分	－	－	
	第Ⅳ区分	人	人	
家計急変による支援対象者 (年間)				0人
合計 (年間)				27人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号、第4号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	人	0人	0人
計	人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人
(備考)					

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	人	0人	—
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	人	0人	—
計	人	0人	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。